

# あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに  
くもきりむろこけひといぬうへすゑ  
アメツチホシソラヤマカハミネタニ  
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ  
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末  
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太

ABCDEFGHIJKabcdefghijkl0123456789,!.?\*

或曇った冬の日暮である。  
私は横須賀発上り二等客

車の隅に腰を下して、ぼ

んやり発車の笛を待って

ぼ

22Q / 30H

は横須賀発上り二等客車の隅  
に腰を下して、ぼんやり発車  
の笛を待っていた。とうに電  
燈のついた客車の中には、珍  
らしく私の外に一人も乗客は  
いなかった。外を覗くと、う

16Q / 24H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発  
上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんや  
り発車の笛を待っていた。とうに電燈の  
ついた客車の中には、珍らしく私の外に  
一人も乗客はいなかった。外を覗くと、  
うす暗いプラットフォームにも、今日は  
珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、  
檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそ

28Q / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須  
賀発上り二等客車の隅に腰を下して、  
ぼんやり発車の笛を待っていた。と

20Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等  
客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っ  
ていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍ら  
しく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗く  
と、うす暗いプラットフォームにも、今日は珍し  
く見送りの人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れら

16Q / 24H

或曇った冬の日暮である。私  
は横須賀発上り二等客車の隅  
に腰を下して、ぼんやり発車  
の笛を待っていた。とうに電  
燈のついた客車の中には、珍  
らしく私の外に一人も乗客は  
いなかった。外を覗くと、う  
す暗いプラットフォームにも、